

令和 7 年度

社会福祉法人安堵町社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人
安堵町社会福祉協議会

令和7年度事業報告 概要

「誰もが主体的に参加、役割を持ちながら支え合う地域づくり」と、「住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指して、当会が担うべき地域福祉の推進において、令和7年度は、地域包括支援センター運営・介護予防事業・地域での支え合い活動の推進、生活困窮者支援、生活支援体制整備等を重点的に事業展開してきました。これにより、複雑化、深刻化する地域での福祉課題や生活課題の解決に向けて、各種関係機関、団体、行政と連携し、地域包括ケアシステムの深化において当会の役割を果たすため、より地域に密着した拠点となるよう努めました。

地域で安心して暮らしていくためには、様々な社会保障制度だけではなく、地域での支え合いやつながりづくりが重要です。制度では解決できない暮らしの中の困りごとや課題の解決に向け、「ワンコイン支え愛サポーター」や「よりそい隊」などのボランティアによる生活のちょっとした困りごとの支援を行ってきました。一方で、地域の助け合いのしくみづくりや地域サロン活動については、地域の方々が集う居場所づくりの活動に対する支援を行いました。

また、高齢者の5人に1人が認知症と言われている中で、「認知症になっても地域で安心して暮らせるまちづくり」として、多くの住民に対して認知症の正しい理解を深めるためにサポーター養成講座を開催しました。

赤い羽根共同募金・日本赤十字社資募金活動等については、地域住民の皆様による活動へのご理解のもと、目標達成額に近づけることができました。心より厚く御礼申し上げます。

事業実施状況

【法人運営事業】

決算額	13,353,703 円
-----	--------------

1. 社協総務運営(庶務、経理、理事会、評議員会等の運営)

理事会

第1回	令和7年6月3日(火)
第2回	令和7年6月20日(金)
第3回	令和8年3月16日(月)

評議員会

第1回	令和7年6月20日(金)
第2回	令和8年3月24日(火)

監事の監査

第1回	令和7年5月22日(木)
-----	--------------

評議員選任・解任委員会

第1回	令和7年6月3日(火)
-----	-------------

2. 広報・啓発活動

各地域での活動の紹介や、ボランティアの情報、社協の活動や情報の記載、安堵町共同募金委員会、安堵町赤十字奉仕団の活動報告、地域包括支援センターの活動の紹介等を掲載し、情報発信を行いました。

・広報誌「あんど社協だより」の発行

令和7年5月	102号
令和7年9月	103号
令和8年1月	104号

・ホームページ公開(<http://andoshakyo.com>)

3. 募金運動の推進

国内外の災害などに対する募金や日本赤十字社、共同募金会事業に対する募金活動の支援を行いました。

【地域福祉推進事業】

1. 総合相談機能の充実

総合相談延べ支援件数	513回
総合相談人数	38名
1カ月当たりの件数	43件

総合相談事例ケース1（60代女性、独居）

生活福祉資金貸付からの相談、タックメイトおおのさんから地域包括へ相談（課題）

- ・マンションの部屋中にゴミがあり異臭がする
- ・体調不良、病院に行く手段がない
- ・身寄りなし、お金に困っている
- ・生活保護受給している

総合相談事例ケース2（60代男性、長男、次女3人世帯）

健康福祉推進室より連絡があり、入院費の支払いができないと貸付の相談（課題）

- ・足を怪我してから就労ができなくなり生活に困窮している。入院費が支払えない。
- ・次女は視力低下が著しい。今まで働いたことがなく就労を希望しているが見つからない
- ・長男は非正規雇用。収入が安定せず生活費が苦しい
- ・世帯全体の支援が必要

【関係機関先一覧】

生活困窮者支援について連携先	中和吉野サポートセンター →就労支援
	中和福祉事務所 →生活保護までのつなぎ
	安堵町役場 健康福祉推進室 →生活全般・制度へのつなぎ
	安堵町役場 税務課 →税の滞納や支払い
	安堵町役場 住民課 →生活保護の相談
	イシメン株式会社 →食のたすけあい支援
	JEFO Donation →食の支援
	フードバンク奈良 →食の支援

2.生活困窮者への自立支援事業

緊急性を要する生活困窮者に対して、生活保護制度利用決定に至るまでの間に生活福祉資金の貸付へと繋ぎました。その日、食べる物が無いなどの場合は、食糧支援を行いました。また、もったいない食品を無くす活動として、フードバンク奈良より提供いただいた食材を、生活にお困りの方や、地域の活動などへの提供を行いました。令和4年度「食のたすけあい支援事業」として、よりもったいない食品を無くす取組にイシメン株式会社も賛同いただき、食の支援を行いました。

また、令和6年度より、公益社団法人日本非常食推進機構と締結し、賞味期限が近づいた災害備蓄食品等を受け取り、生活にお困りの方へ提供を行いました。

・生活福祉資金貸付事業

委託元;奈良県社会福祉協議会

決算額	282,543 円
-----	-----------

生活福祉資金相談件数	7 件
生活福祉資金貸付件数	3 件

・食のたすけ合い支援

食のたすけあい支援件数 個人	436 件
----------------	-------

食のたすけあい支援件数 地域	4 件
----------------	-----

- ・緊急小口資金等特例貸付借受人フォローアップ支援事業
委託元:奈良県社会福祉協議会

決算額	3,500,000 円
-----	-------------



令和7年度より新規事業として、コロナ禍において特例貸付を行った方々を対象に支援する「緊急小口等特例貸付借受人フォローアップ支援事業」を行いました。令和7年度は、電話連絡や訪問による償還手続きの支援、新たな貸付の相談を受けるなど支援を行いました。その他、生活用品を購入し借受人に対して支援ができる体制を整えました。

支援方法	架電	受電	訪問	来所	郵送
支援件数	30	16	13	37	98

3. 共同募金事業

委託元:安堵町共同募金委員会より事務委託

10月からの募金増強月間に、全戸募金の協力を各大字、職域、学校等にお願ひしました。また町内の各施設に募金箱を設置し、皆様のご協力により集まった下記の金額を共同募金会へ送金させていただきました。

令和 7 年度は、奈良県共同募金広域助成事業の災害ボランティア防災・減災活動助成を申請し、「防災・減災について考える①、②」を安堵町役場と共同開催いたしました。

- ・安堵町共同募金運動

目標額	488,000 円
実績額	481,223 円

- ・奈良県共同募金広域助成事業

実施事業	防災・減災について考える①・②
申請額	250,000 円
実施額	250,002 円
自己負担額	2 円

- ・安堵町共同募金委員会助成金事業

令和7年度より、多様な地域福祉活動を応援するために配分金を活用した地域活動への助成を実施いたしました。

配分金額	396,758 円
地域への助成金額	396,758 円

4. 福祉団体育成事務事業(関係機関及び各種団体との連携)

委託元:安堵町

民生児童委員、安寿会連合会、赤十字奉仕団、安堵町赤十字奉仕団、更生保護女性会、町内ボランティア団体の活動推進、県やその他からの情報提供や助成金等の事務支援を行いました。

・民生児童委員協議会の年間活動の支援

年間事業内容	
定例委員会	12 回
施設見学、研修	3 回
生活福祉資金制度の支援協力	随時
独居高齢者調査の協力	随時
施設ボランティア実施の支援	12 回
民生児童委員の日活動強化週間支援	1 回
生駒郡連合会研修会への参加	3 回



・安寿会の年間活動の支援

年間事業内容	
支部長・本部役員会	支部長会議 6 回 本部役員会議 6 回
町内美化運動	2 回
菊花展(天候不順により中止)	0 回



(福祉団体・ボランティア団体等育成事務支援)

委託元:安堵町

決算額	54,000 円
-----	----------

- ・ネットあんど協働たい・運動普及ボランティア・手話サークル葉の会・安堵こども食堂
- ・Beー輪

(ボランティア活動支援)

町内で活動されるボランティア活動について、保険加入の手続きや助成金の申請手続きなどの支援を行いました。

社協ボランティア保険加入件数	活動保険件
	行事保険 22 件

5. 地域への貸与事業

① 車いす貸与(自走式 6 台・介助式 3 台)

一時的に歩行が困難で、介護保険での車いす貸出しサービスが利用出来ない方を対象に、無償貸与を行いました。



貸出件数	15 件
------	------



② 3人乗り自転車貸与(3 台・お子様用ヘルメット 4 個)

子育て多子世帯の経済的な負担を軽減すること、及び外出機会の提供や社会参加による育児不安の解消を図ることを目的とし、3 人乗り自転車の無償貸与を行いました。

貸出件数	1 件
------	-----

③ レクリエーション物品貸与(スカットボールや輪投げ、ラダーゲッター、ポップコーン機、わたがし機、プロジェクター・キーボード・モルック等)

子ども会や地域活動等で活用していただけるよう、無償貸与を行いました。

貸出件数	20 件
------	------



④ ベビーベッド貸与(3台)

1歳未満のお子さんを養育中の安堵町住民へベビーベッドの無償貸与を行いました。

貸出件数	6 件
------	-----



6. 災害ボランティア活動支援

安堵町役場と共催で共同募金広域助成制度を活用し、「減災・防災について考える①、②」を行いました。災害について周知していただくため、地域の方々に向け講演会や、災害ボランティア設置運営訓練に参加していただきました。

減災・防災について考える①	令和 7 年 10 月 12 日(日)
減災・防災について考える②	令和 7 年 11 月 29 日(土)



＜防災減災について考える②アンケート結果＞

参加 90 名 回答率 47 %

問 1 災害ボランティアセンターについて

よく知ることができた 57.1% 少し知ることができた 42.9%

問 2 災害ボランティアセンター設置運営訓練を体験してみた感想

- ・ 災害の体験を身近に感じる事が出来た。
- ・ 被災者の立場からのボランティア活動である。
- ・ 実際に災害が起こっているとパニックになると思うが、前もって知ることにより落ち着いて行動できるかなと思った。
- ・ 近くの人たちとの普段のお付き合いが必要かなと思う地域の住民の皆さんと一緒に参加しながら、どういうものかだいたい理解できた。
- ・ 防災士の体験をお聴き出来たことは役に立つと思う。
- ・ 助け合いの大切さを感じた。
- ・ 地域の連帯感が大事。

7. 日常生活自立支援事業

委託元:奈良県社会福祉協議会

決算額	117,000 円
-----	-----------

金銭管理のできない高齢者や日常的に物忘れのある認知症、精神障害等のある方に対し、定期的に生活支援員が訪問して日常的な金銭管理を支援しました。必要に応じて福祉サービスの調整や情報提供等も行いながら自立した生活を送っていただけるよう努めました。

延相談件数	76 件
利用件数	3 件(内生活保護者 2 件)

8. 日赤募金事業

① 日本赤十字社員増強運動

5 月の社員増強月間に全戸募金の協力を、大字区長・自治会長へお願いしました。また、町内の各施設等に募金箱の設置をお願いしました。

目標額	703,000 円
実績額	587,525 円

「日本赤十字社法人募金活動サポート」

日本赤十字社奈良県支部と安堵町赤十字奉仕団による企業・法人募金活動を行いました。

募金総額	160,000 円
実施日	令和 7 年 9 月 26 日

② 献血活動事業の支援

町内で年2回実施する献血事業に対し、安堵町赤十字奉仕団と協力して広報、啓発活動を行いました。

1 回目実施日	令和 7 年 8 月 29 日 (金)
2 回目実施日	令和 8 年 2 月 20 日 (金)

献血対象者

1 回の献血量	200ml	400ml
年齢	男女とも:16～69 歳	男性:17～69 歳 女性:18～69 歳
体重	男性:45 kg 以上 女性:40 kg 以上	男女とも:50 kg 以上
血圧	最高血圧:90mmHg以上 180mmHg未満 最低血圧:50mmHg以上 110mmHg未満	
目標人数 (1 回目)	1 名	20 名
献血人数 (1 回目)	1 名	17 名
目標人数 (2 回目)	1 名	20 名
献血人数 (2 回目)	4 名	17 名

※献血当日の詳細な問診回答や医師の判断により献血できない場合があります。

③ 地域赤十字奉仕団活動促進助成金交付事業

防災講習 (町 3 カ内所)	笠目	(R 7 年 9 月 19 日)	約 30 名
	東安堵南	(R 7 年 9 月 24 日)	約 30 名
	あつみ台	(R 7 年 9 月 28 日)	約 30 名



9. 小口資金貸付事業

決算額	20,000 円
-----	----------

低所得者や生活困窮者等に貸付を行うことより、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

相談件数	4 件
貸付件数	1 件
貸付総額	20,000 円
償還金総額	0 円
寄付金受入件数	8 件
寄付金受入総額	71,592 円

10. 福祉サービス苦情解決

福祉サービス分野に「苦情解決のしくみ」を導入し、苦情解決責任者1名、苦情受付担当者1名、第三者委員2名を配置し、ニーズの把握やサービスの質の向上に結びました。

苦情件数	0 件
------	-----

【受託事業】

1. 地域包括支援センター運営事業

委託元:安堵町

決算額	11,076,860 円
-----	--------------

地域包括支援センターは、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種がチームアプローチにより、住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として運営しています。高齢化が進み、独居、高齢世帯、認知症高齢者の増加が見込まれる中、要介護状態とならないため住民とともに自助、互助を活かした介護予防の取組や、介護が必要になっても住み慣れた地域でその人らしく暮らし続けることができる地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みとして、多機関、多職種連携による体制づくりや地域資源を活用した仕組みづくりを行いました。

・介護予防支援事業(介護予防サービス計画作成)

委託元:安堵町

決算額	3,625,537 円
-----	-------------

利用者(R8.3 実人数)	要支援者	97 名
	事業対象者	19 名
年間延利用者数	要支援者	1196 名
	事業対象者	157 名
包括担当延べ件数	要支援者	74 件
	事業対象者	24 件
委託先延べ件数	要支援者	1122 件
	事業対象者	133 件

・総合相談支援事業・権利擁護事業

相談内容・件数

介護に関すること	611 件
介護予防に関すること	94 件
生活支援に関すること	52 件
認知症に関すること	69 件
依存症・障がい・身体的不調に関すること	186 件

入退院に関すること	158 件
権利擁護に関すること	32 件
ケアマネジメント業務に関すること	125 件
ケアマネジャー後方支援に関すること	72 件
その他	214 件
延べ件数	1,613 件

・包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

安堵カンファレンス	7 回
生駒郡内介護支援専門員合同研修	4 回

・介護予防ケアマネジメント事業

いきいき百歳体操	15 カ所
地域サロンでの健康相談	2カ所

・地域ケア会議開催

委託元:安堵町

決算額	786,770 円
-----	-----------

困難事例会議	4 回
自立支援型地域ケア会議	17 回
自立支援型地域ケア会議(新規利用者延件数)	38 件

・在宅医療・介護連携推進事業

委託元:安堵町

決算額	3,326,132 円
-----	-------------



生駒郡地域ケア会議	2 回
多職種勉強会	2 回
市民公開講座(人生会議シリーズ②)	1 回
生駒郡内在宅医療介護資源集作成会議	5 回
入退院調整ルールづくり事業 状況調査	1回
入退院調整ルールづくり事業 担当者会議	4 回
入退院調整ルールづくり事業 全体会議	1回
西和メディケアフォーラム合同会議	2回
西和メディケアフォーラム事例検討会	1回

・認知症総合支援事業

委託元:安堵町

決算額	7,578,638 円
-----	-------------



① 認知症サポーター養成講座

実施日	参加人数	対象
令和7年 7月 7日	37 人	安堵中学2年生
令和7年 8月 27日	15 人	東安堵南地区の子ども・住民
令和8年 1月 30日	9 人	一般住民
令和8年 2月 16日	10 名	生活支援サポーター養成講座

(R8. 3月末現在 安堵町内 認知症サポーター数 953 名)

② 認知症キャラバンメイト連絡会

R8. 3月末現在 キャラバンメイト 16 名

③ 認知症地域支援推進員

安堵町認知症地域支援推進員 7 名

推進員会議 4 回

開催日	参加者
令和7年 5月 16日(金)	5 名
8月 15日(金)	5 名
11月 21日(金)	5 名
令和8年 3月 30日(月)	6 名



④ 認知症講演会

令和8年 2月 24日(火) 参加者 150 名

Ⅰ部 『ぼけますから、よろしくお願いします』上映会

Ⅱ部 認知症講演会

講師 信友 直子氏(ドキュメンタリー映画監督)

2月 24日(火)に認知症講演会を開催しました。Ⅰ部はドキュメンタリー映画『ぼけますから、よろしくお願いします』の映画上映会を行い、Ⅱ部はその映画監督でもあり、映画に登場する老夫婦の一人娘でもある信友直子氏にご講演頂きました。



⑤ チームオレンジ安堵・オレンジかふえあんど

令和7年度のオレンジかふえあんどは、第2木曜日に定期開催しました。

認知症のある方も無い方も一緒に安心して過ごせる場所となっています。

・オレンジかふえあんど

開催日	内容	参加者数
4月10日(木)	お花見&野点	16名
5月8日(木)	カーネーション作り	19名
6月12日(木)	わらび餅作り	24名
7月10日(木)	フラダンス	18名
8月14日(木)	うちわでボール送りゲーム	18名
9月11日(木)	ミャクミャク作り	22名
10月9日(木)	ボールを使ったゲーム	20名
11月13日(木)	ランプシェード作り	21名
12月11日(木)	ハンドベル	21名
令和8年1月15日(木)	安堵かるた&おみくじ	16名
2月12日(木)	チョコフォンデュ	21名
3月12日(木)	1年間の写真を見て振り返り	19名



・チームオレンジ安堵

2カ月に1回会議を行い、オレンジかふえの内容や認知症啓発について話し合いました。それ以外にも必要に応じてオレンジかふえの準備のために集まりました。

また、健康福祉推進室、認知症地域支援推進員とともに、各地域のサロンにて実施した認知症出前講座にも同行し、にわとり体操と、絵本の読み聞かせを行いました。

保健福祉センターで行われている介護予防教室『人生こっからくらぶ』にボランティアとしても参加されています。

開催日	内容	参加者
5月1日(木)	5月かふえカーネーション作り準備	10名
5月15日(木)	オレンジ会議	11名
6月19日(木)	啓発月間物品作成準備	13名
7月31日(木)	オレンジ会議	10名
8月21日(木)	啓発月間ティッシュ作成準備	11名
8月29日(金)	認知症啓発月間ブース設営準備	3名
9月5日(金)	9月かふえミャクミャク作り準備	10名
9月25日(木)	オレンジ会議	10名

11月6日(木)	11月かふえランプシェード作り準備	9名
11月20日(木)	オレンジ会議	9名
令和8年1月22日(木)	オレンジ会議	10名
3月19日(木)	オレンジ会議	9名

⑥ 本人家族の相談会 1回 5月8日(木)

遠方に住む両親に認知症が疑われるということで町内にお住まいの娘さんから相談を受けました。

⑦ 本人家族の一体的支援プログラム 6回

認知症を持つ本人と、その家族を一体的に支援することで良好な家族関係を再構築することを目的とした一体的支援プログラムを実施しました。「本人・家族がしたいこと」を主として内容を考え、本人と家族が共に活動する場として『あんど会』を開催しました。

開催日	内容	参加者
令和7年7月22日(火)	粘土細工を楽しもう	9名
9月16日(火)	茶話会	8名
11月18日(火)	三輪 狭井神社 散策	6名
12月16日(火)	モルック	3名
令和8年2月17日(火)	たこ焼き作り	7名
3月17日(火)	まとめミーティング	8名

2. 介護予防事業

委託元:安堵町

決算額	2,980,895 円
-----	-------------

「通いの場へのアウトリーチ支援」

各地域のいきいき百歳体操の場において、今年度も専門職による体力測定と講話を実施し、介護予防の啓発をおこないました。

実施箇所数	15ヶ所
参加人数	160名

「いきいき百歳体操」(地域介護予防活動支援事業)

「自分のからだは自分で鍛える」を目標に、筋力アップ、柔軟、バランス感覚を鍛えることができる、おもりを使った“いきいき百歳体操”を、集会所等で週に1回、地域住民さんが自ら行う活動の支援をしました。介護予防と同時に、地域の通いの場づくりへと繋がっています。

実施箇所数	15ヶ所
参加人数	209名

実施回数	約760回	
実施場所	かしの木台	毎週金曜日
	小泉苑	毎週水曜日
	柿の里	毎週金曜日
	東安堵南(四弁花)	毎週月曜日・木曜日
	笠目	第1・2・4水曜日
	福祉保健センター	毎週金曜日
	若草の里	毎週土曜日
	上窪田	毎週木曜日
	あつみ台	毎週水曜日
	岡崎	毎週火曜日
	カルチャーセンター	毎週水曜日
	中窪田	毎週月曜日
	デイサービスひなたの家	毎週水曜日
	西安堵	毎週火曜日
	あくなみ苑	毎週日曜日

かみかみ体操実施場所：かしの木台・小泉苑・柿の里・東安堵南(四弁花)・あつみ台・中窪田・上窪田

「サロン・いきいき百歳体操代表者交流会」

住民の自主的な健康づくり推進と通いの場の継続にあたって、参加者の高齢化やリーダーの後継者が存在しない等の課題があり、それぞれの地域の現状の把握と情報を共有し今後の運営に役立てる目的に、代表者交流会を開催しました。



開催日	内容	参加者
令和7年11月21日(金)	活動報告(小泉苑いずみの会・新法隆寺興人サロンナデシコ) 情報交換会	20名

「リハ職派遣事業」(地域リハビリテーション活動支援事業)

身体機能低下により日常生活動作が困難になっている方を対象に、3か月間集中的に、専門職(作業療法士)より自宅での生活動作についての指導や、栄養、口腔などを含めた継続的な自主予防について学びながら、もとの生活を取り戻すことを目指す取り組みをしました。

実人数(R7.4～R8.3)	5人
延実施回数	52回

「介護予防教室 人生こっからくらぶ」

後期高齢者健康診査において、フレイルが気になる方を対象に、からだ・こころ・脳のリフレッシュと、健康習慣を身に着け、健康寿命の延伸を目指す教室を開催しました。

実施回数	合計 49 回	運動療法(体幹・筋力向上)25 回 音楽療法 24 回
実人数		参加登録者38名

3. 高齢者の保健事業と介護予防との一体的な実施事業

委託元:安堵町

決算額	3,138,270 円
-----	-------------

健康寿命の延伸に向けて医療保険と介護保険における予防と健康づくりを一体的に実施するもので、有病率の高い高齢者の早期発見、対応とともに重症化の予防、フレイル予防や介護予防、生活習慣予防について、健康福祉推進室と地域包括支援センターとで連携しながら取り組みました。健康状態不明瞭者を抽出(30名)し、対象者には、健康チェックの質問表とお元気ですかアンケートを送付しました。その中で返信の無い方や、ポピュレーションアプローチが必要な方へは個別訪問し、健診や受診勧奨、介護予防やフレイル予防の啓発を行いました。

個別訪問数	17名
モニタリング継続者	2名
介護予防部会	5回

4. 生活支援体制整備事業

委託元:安堵町

決算額	5,307,390 円
-----	-------------

①生活支援体制整備事業 第1層協議体・第2層協議体

令和7年度生活支援体制整備事業協議体で地域の課題を出し合いました。地域の課題として「ゴミの日を忘れてしまう方にとってどう支援するか」と「移動手段がない方の移動支援について」課題が上がりました。

開催日時	会議名、会議内容
令和8年1月14日(水)	令和7年度生活支援体制整備事業第1層協議体 ゴミ出し支援、移動支援の地域課題を確認する

②地域サロン活動の推進

各大字において行われている様々な自主活動は、体操やレクリエーション、お出かけ等、地域での活動をされています。次年度では、「サロン交流会」や、「サロンの巡回」など行う予定です。

各サロン開催地域(休止や日時の変更あり)

サロン名	開催日	開催場所	参加人数
------	-----	------	------

まほろばサロン(東安堵南)	第3木曜日	四弁花	15～20名
西安堵ふれあいサロン	休止中	西安堵公民館	
下窪田ふれあいサロン	休止中	下窪田自治会館	
岡崎あすなろ会	毎月 20 日頃	岡崎公民館	5～10名
笠目サロン	第3金曜日	笠目公民館	15～20名
かしの木台日の出サロン	第4金曜日	かしの木台集会所	15～18名
小泉苑いずみの会	第3木曜日	小泉苑公民館	20～25名
柿の里いきいきサロン	第2金曜日	柿の里団地集会所	10～12名
柿の里ダンディ	休止中	柿の里団地集会所	10名程度
若草の里サロン	月1回土曜日	若草の里集会所	10名程度
窪田(上・東・北)わかばサロン	年1回	上窪田公民館	30名以上
ほっとあんどサロン	休止中	福祉保健センター	5名以上
新法隆寺・興人サロン・ナデシコ	偶数月第1月曜日	福祉保健センター	10～15名
あつみ台なでしこサロン	休止中	交流館なでしこ	20～25名

③地域で支えるボランティアの活動

・よりそい隊

令和7年度は「こっからくらぶミュージックケア」のボランティアに参加していただきました。

会議	12 回
ボランティア加入者	4 名
活動内容	・こっからくらぶミュージックケア(22 回) ・安堵こども食堂イベント支援(5 回) ・安堵こども食堂絵馬作成(2回) ・生活困窮者向け配布用、政府備蓄米仕分け作業(1 回)



・支え愛サポーター

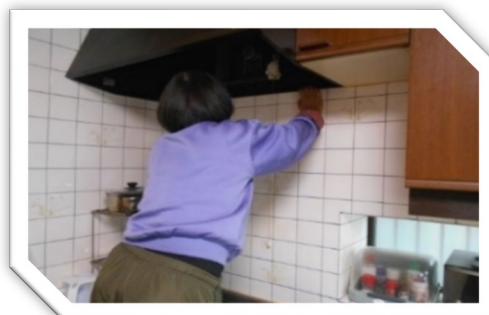
生活のちょっとした困りごとをワンコインで支える生活支援サポーター養成講座を受講され、令和元年12月より「支え愛サポーター」として活動をスタートしました。令和8年2月6日には移動を伴う生活支援をされている平群町社協、平群町ボランティア団体と交流会を兼ねた視察を行いました。

令和8年2月16日には新たなサポーターの募集を行い新任サポーター6名が参加していただけるようになりました。



定例会	12 回
-----	------

ボランティア加入者	サポーター12 名		利用会員 55 名
令和8年2月6日(金)	安堵町・平群町ボランティア団体交流会 移動支援視察を兼ねた交流会		
令和8年2月16日(月)	生活支援サポーター養成講座 参加者:現任サポーター6 名 新任サポーター5 名		
活動実績	活動件数		117 件
	内 訳	掃除	92 件
		買い物代行	17件
		植木の処分	1 件
		草引き	18 件
		ソファの移動	1 件
		病院の付き添い	4 件
		雨樋のつまり	1 件
		ベッドの解体	1 件
		網戸の張替え	1 件
		その他	5 件



5.社会参加援助サービス事業

委託元:安堵町

決算額	888,034 円
-----	-----------

一人でも多くの方に参加いただき、聴覚障害者への理解と知識を学ぶことで交流を深め、障害を持った方への暮らしやすいまちづくりを推進のために、手話奉仕員養成講座を開催しました。



手話奉仕員養成講座(基礎課程)	全 24 回
受講者数	11 名

【外部講師】

5 月 12 日	障害福祉の基礎(安堵町健康福祉推進室 植田)
6 月 23 日	聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度 (県聴協副理事長村上武志)
9 月 1 日	ボランティア活動(安堵町社会福祉協議会 松村)

